

映画上映＆監督によるトーク
「ブラジルから来たおじいちゃん」

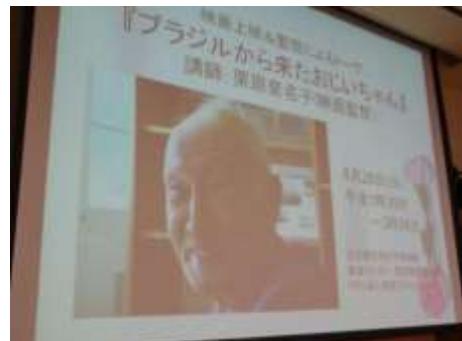
日時：2009年 6月 28日（日）
午後1時30分～3時30分
会場：交流ラウンジ

栗原奈名子監督のドキュメンタリー映画「ブラジルから来たおじいちゃん」の上映と、監督による講演会を開催した。日本在住のブラジル人の数は現在31万人を超え、増加と滞在長期化傾向にある。愛知県も有数の在住地であり、多様性のある国際化社会における男女共同参画を考えるとき、日系ブラジル人や、出稼ぎの日系ブラジル人たちの文化・歴史を理解する姿勢がより一層必要になる。今回は映画を通して、身近に考えるきっかけを提供した。

講 師／ 栗原奈名子（映画監督）

参加人数／ 69人（女性 51人、男性 18人）

参加費／ 500円



ご意見ご感想をいただきました

- 監督の話をたくさん聞けてよかったです。ブラジルに限らず、たくさん の外国人労働者が、不況のなか、苦しんでいると思うが、何とか同じ日本住む友人として共生できたらと思う。
- 移民について考えさせられました。日本社会の見えない問題が見えました。
- 自分がブラジルに住んでいたので、とても共感でき楽しめました。日本ではブラジルについての情報は、少なく、なかなかブラジルを紹介してもらえないで、この映画をもっと沢山の人に見ていただいてブラジルのことを知ってほしいです。
- 監督と輪になってトークを聞いたり、質疑応答ができるのがとても素晴らしいと思った。
- 映画だけでなく映画作成にあたっての監督の熱い思いを生で聞くことができました。
- 私がブラジルの留学生から色々教えて頂いた事感じたことが、この映画には全て含まれているドキュメント映画でした。ぜひ多くの日本人日系人にも見て頂きたいです。栗原さん、こんのさんありがとうございます。オブリガンド。
- おじいちゃんの人生のミッションを感じました。

プランなごや21

目標6 「国際社会における男女共同参画」



名古屋市男女平等参画推進センター 指定管理者
N P O 法人参画プラネット